

# 地域連携NEWS

東京都健康長寿医療センター  
地域連携部医療連携室

〒173-0015

東京都板橋区栄町35番2号

TEL 03 (3964) 1141 (代表)

FAX 03 (3964) 1392 (医療連携室)

Vol.35 2012.11 発行

## 特発性正常圧水頭症について

(idiopathic normal pressure hydrocephalus : iNPH)

東京都健康長寿医療センター 副院長(脳神経外科) 小林 秀

特発性正常圧水頭症は、高齢者の水頭症で、歩行障害・認知障害・尿失禁を三主徴とし、腰椎穿刺時に測定した髄液圧が正常域を示すが、髄液シャント手術により症状が改善するという疾患です。NPHは認知症の鑑別疾患として重要ですが、最近ではNPHの主な症状は歩行障害とされています。1965年に米国のHakimらによって発見された頃は認知障害が中心と考えられ、NPHは「治療可能な認知症 (treatable dementia)」としての側面が強調されて広く知れわたり、認知症の患者さんが十分な診断なしにシャント手術を受けたため良い治療成績が得られませんでした。

その後、NPHの診断と治療方法の改善が強く求められました。そして、画期的なシャント装置の開発と大幅な診断技術の向上により治療成績が飛躍的に向上するとともに、欧米と日本 (2004年) でiNPH診療ガイドラインが整備されました。今日では、多くの患者さんがシャント手術の恩恵を受ける時代となっています。

特筆すべき画像診断 (読影) の進歩は、クモ膜下腔の不均衡な拡大を伴う脳室の拡大、即ちDESH (disproportionately enlarged subarachnoid-space hydrocephalus) の所見を見いだしたことです。日本正常圧水頭症研究会の成果に基づいて、①脳室拡大②シルビウス裂・下位クモ膜下腔の拡大③高位円蓋部正中部分のクモ膜下腔の狭小化、の3所見を有するものがDESHと定義されました (特発性正常圧水頭症診療ガイドライン (第2版) 2011年)。(図参照) この所見はiNPHの術前診断に極めて有用であり、シャント手術後に症状の改善に伴いDESHの所見が正常化することが認められます。ただし、DESHの画像所見があるにもかかわらず、歩行障害などの臨床症状を認めない症例があることに注意を払う必要があります。

髄液排除試験 (TAPtest) は腰椎穿刺により約30mlの脳脊髄液を排除して、歩行障害と認知障害の改善度を判定するものです。陽性所見が得られた症例はシャント手術が有効です。欧米では、腰部持続脳脊髄液ドレナージによる評価も行われていますが、日本では標準的ではありません。

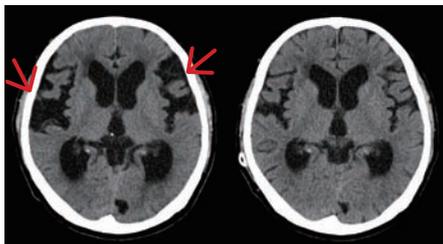
治療法は、側脳室からまたは腰椎クモ膜下腔から管を通して腹腔内に髄液を誘導する、髄液シャント術です。手術で使用するシャントバルブ装置の大きな進歩として、圧可変バルブの導入が挙げられます。手術時に低めのシャント流入圧に設定しておき、術後に外表から磁石で流入圧をコントロールすることができるようになりました。術後血腫などの合併症を減らし、治療成績の向上に貢献しました。

iNPHの歩行障害の特徴は、歩幅が狭くすり足で、両方の足を広げて歩く。歩行リズムが遅く、体のバランスが悪く、方向転換に時間がかかる。軽く手を貸してあげると歩ける。これに、意欲や記憶力の低下と注意力の減退、尿失禁などが加わっていたらNPHが強く疑われます。このような患者さんがおられましたら、是非脳神経外科にご相談ください。

### 髄液シャント術の効果 (66歳男性)

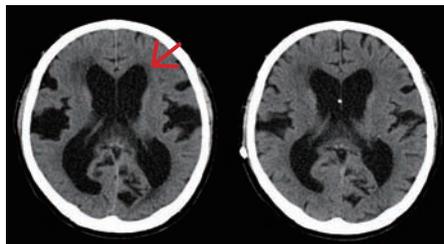
シルビウス裂の拡大

術後



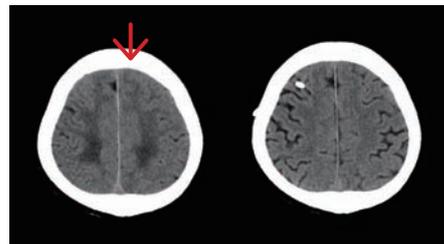
脳室拡大

術後



高位円蓋部正中部分の  
くも膜下腔の狭小化

術後



新病院建設中!



地方独立行政法人  
東京都健康長寿医療センター  
TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL



アクセス

- 東武東上線「大山」駅下車、南口・北口より徒歩5分
  - 都営地下鉄三田線「板橋区役所前」駅下車A2出口より徒歩10分 (徒歩80m/分)
- また、お車でお越しの方に駐車場 (駐車料無料) も御用意しておりますが駐車台数に限りがあるため、あらかじめご承知おきください。

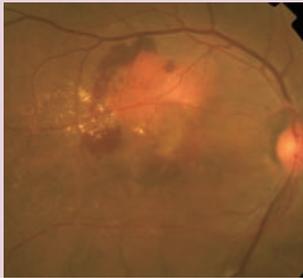
# 「加齢黄斑変性」のご案内

眼科 入山 彩

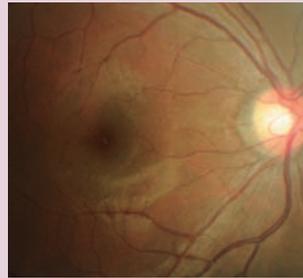


加齢黄斑変性は人口の高齢化や生活様式（特に食生活）の欧米化により我が国でも増加しております。当センターでは専門の医師が加齢黄斑変性の診断および治療に積極的に取り組んでおり、主に抗VEGF療法（ルセンティス硝子体注）をおこなっております。抗VEGF療法は視力の維持および改善に効果はありますが、萎縮した網脈絡膜の再生は現在の医療では不可能であることから、良好な視力を保つためには早期発見及び早期治療が重要であると考えられております。そのため視力低下があまり認められず治療の開始時期に関して迷っておられる患者様であっても、最適の治療方針を検討させていただきますので是非ご紹介ください。

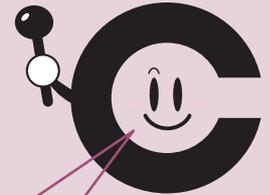
又その他の黄斑部の疾患でお困りの患者様などをご紹介頂ければ真摯に対応させていただきますので何卒よろしくお願い申し上げます。



典型的な加齢黄斑変性の眼底



正常な眼底



ご紹介お待ちしております。

## 連携インタビュー！



島田 潔 院長

今回は板橋区役所前診療所の島田院長にインタビューを行いました。

板橋区役所前診療所は在宅・訪問医療を行う診療所として、日頃から加齢や疾病のために通院が困難な患者様に対して、定期的な訪問診療や臨時往診を行っており、当センターに多くの患者様をご紹介いただいております。

インタビューを通じて今後更なる連携が構築できたらと考えております。

### Q1 当センターにはどのような印象をお持ちですか？

高齢者に特化した医療を提供しているから、高齢の患者様に体力的な面や負担を考え、治療内容や検査内容も高齢の患者様に分かるように優しく説明をいただいている。

高齢者、超高齢者に対しても手術にふみきっていただけるケースもあり、感謝している。

### Q2 今後連携を深めていくために、当センターに何を望みますか？

顔の見える医療連携ということで、更なる医療連携室・医療相談室の充実をしていただきたい。入院や検査依頼をする際や退院後どのように診ていったらいいかなど、早めに質問していただければ対応が取りやすくなる。

救急に対して医師同士で話しができて、スムーズに受け入れていただけるため、今後も継続していただきたい。一方で新患の患者様の受入れも積極的にしていただけたら更に良いと思います。

### Q3 新病院に期待することはありますか？

日本人の死亡原因の第一位ががんになるので、緩和ケア病棟ができることは、とても楽しみにしています。

医師、看護師、コメディカルからの情報をトータルにいただき、丁寧に在宅医療につないでいただくことを期待しています。



外観



訪問車

# センター施設紹介 (Vol, 6)

病棟となる予定の高層棟躯体が12階まで完成した9月27日、全体工程の節目を祝し、センター幹部、設計者、施工者並びに各職長とともに上棟現場確認会を行いました。

この夏の猛暑で、体調を崩す現場作業員も多数あったようですが、大幅な工程の遅れ等の問題もなく上棟を迎えられたことは、職長会長を中心とした作業員さんのチームワークの賜物です。

着工からの作業員の延べ人数が11万4千人という大規模現場にもかかわらず、今日まで無事故・無災害を継続しています。当日は、この間の作業員の労をねぎらい、ご尽力に感謝するとともに、引き続き安全第一で工事を進めるよう、誓いを新たにしました。



新施設病棟11階から北側研究棟を望む

## 放射線科各種検査 (CT, MRI, RI, 骨密度 (一般撮影))のご案内

地域の医療機関の先生方からも直接に依頼を受付けております。  
原則は予約制ですが、緊急の場合は当日でもお受けいたします。

★03-3964-1141<代表>

- CT (内線2244)
- MRI (内線2220)
- RI (内線2241)
- 骨密度 (一般撮影) (内線2247)

原則として、検査終了後1時間以内に検査レポートを作成し、フィルムとともに持ち帰りいただけます。  
すぐにレポートが作成できない場合は、後日郵送いたします。

### 電話受付時にお聞きすること

- ①医療機関名、電話番号、医師名
- ②患者様氏名、生年月日、自宅の電話番号
- ③初診か再診か (再診の場合、当院のID)
- ④検査部位

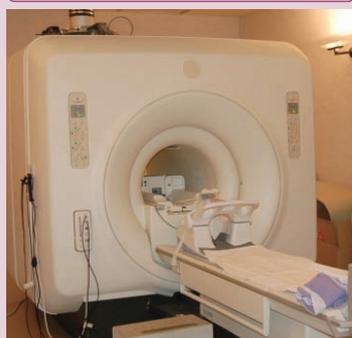
### 患者様にお持ちいただく物

- ①健康保険証
- ②後期高齢者医療被保険者証、難病等公費負担などの医療証
- ③再診の場合は当院の診察券
- ④診療情報提供書 (紹介状)
- ⑤造影CT/造影MRIの場合、造影剤使用の承諾書

(64列) CT



(1.5 T) MRI



RI



骨密度



# 中高年のための健康講座

## 地域で支える認知症

開会挨拶	板橋区医師会 会長 天木 聡	
座 長	板橋区医師会理事 (おおの内科クリニック 院長)	大野 安実
	<b>「認知症疾患医療センターの役割について」</b>	
	東京都健康長寿医療センター (研究所研究部長)	栗田 圭一
	<b>「認知症 板橋区医師会もサポートします」</b>	
	板橋区医師会副会長 (水野医院 院長)	水野 重樹
座 長	東京都健康長寿医療センター (センター長)	井藤 英喜
	<b>「認知症の治療」</b>	
	東京都健康長寿医療センター (理事長)	松下 正明

総合討論 総合司会 東京都健康長寿医療センター (副院長) 小林 秀

日 時	平成24年11月17日 (土)
場 所	板橋区立文化会館 大ホール (定員:1200人)
申込方法	当日先着順、申込不要です。(参加費無料)
共 催	社団法人板橋区医師会
後 援	板橋区

## 公開CPCのご案内

- 平成24年11月22日(木) 19:30～  
臨床科：消化器内科
- 平成25年 1月24日(木) 19:30～  
臨床科：循環器内科



多数の先生方の参加をお待ちしております。是非ご参加ください。

(申込不要、参加無料)

[会場] 東京都健康長寿医療センター 3階医局会議室